
製品名 : 指定配合肥料 2 7

1. 製品及び会社情報

製品名 : 指定配合肥料 2 7
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 耕種資材部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 : 03-6271-8285
FAX 番号 : 03-5218-2536
電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡番号 : 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 爆発物	分類できない
: 可燃性/引火性ガス	分類対象外
: 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
: 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
: 高圧ガス	分類対象外
: 引火性液体	分類対象外
: 可燃性固体	分類できない
: 自己反応性化学品	分類できない
: 自然発火性液体	分類対象外
: 自然発火性固体	分類できない
: 自己発熱性化学品	分類できない
: 水反応可燃性化学品	分類できない
: 酸化性液体	分類対象外
: 酸化性固体	分類できない
: 有機過氧化物	分類できない
: 金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

：急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
：皮膚腐食性/刺激性	分類できない
：眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
：呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
：生殖細胞変異原性	分類できない
：発がん性	分類できない
：生殖毒性	分類できない
：特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	分類できない
：特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
：吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

：水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない
：オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	：該当なし
注意喚起語	：該当なし
危険有害性情報	：該当なし
注意書き	：該当なし

《本製品の構成成分に含有する水酸化カルシウムに関するもの》

健康に対する有害性

：皮膚腐食性/刺激性	区分2
：眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性	区分1
：特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分1(呼吸器)

健康に対する有害性

分類できない

上記記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

：危険

危険有害性情報

：皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器の障害

注意書き

【安全対策】

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取り扱い後は良く手洗いをする事。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

《本製品の構成成分に含有するカルシウムシアナミドに関するもの》

物理化学的危険性

—

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性	区分1
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1(甲状腺) 区分2(肝臓)

健康に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(長期間)	区分2

上記記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による甲状腺の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は良く手洗いをすること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出は避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で

休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

漏出物を回収すること。

【保管】

喚起の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報**化学物質**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名、別名 : 指定配合肥料

成分及び含有量 : 成分は各銘柄の保証成分に依る

危険有害成分 : 水酸化カルシウム 9.0～12.5 %
カルシウムシアナミド 6.0～8.32 %

CAS番号 : 水酸化カルシウム 1305-62-0
カルシウムシアナミド 156-62-7

官報公示整理番号
(化審法・安衛法) : 水酸化カルシウム 1-181
カルシウムシアナミド 1-121

労働安全衛生法 : 水酸化カルシウム(通知対象物 政令番号317)
カルシウムシアナミド(通知対象物 政令番号131)

化管法政令番号 : カルシウムシアナミド(77)

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め、速やかに
医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 水で洗い流す。

目に入った場合 : 水で数分間洗浄ののち、痛みがある場合は直ちに眼科医の手当を受
ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば指をのどに差し込んで吐き
出させ、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置
- 適切な消火剤 : 周辺の火災状況により、適切な消火剤を使用する。
 - 使ってはならない消火剤 : なし
 - 消火方法 : 不燃性であるが、強熱すると悪臭を生じることがあるので、周辺火災時は容器を安全な場所に移動する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。
 - 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流出しないように留意する。
 - 回収・中和 : シート等で覆いをして、飛散拡大の防止を図る。固体は掃き集めて回収する。
本製品が付着したものは、廃棄上の注意の項に従って廃棄する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い上の注意事項 : 換気の良い場所で行うことが望ましい。
保護具を着用し作業する。
取扱い後は、使用した保護具、手、顔等をよく洗う。
 - 保管上の注意事項 : 乾燥した冷暗所に保管し、雨水、日光等が当たらないようにする。
開封したまま放置すると吸湿して固結するおそれがあるので、使用後は密封して保管する。
容器を転倒、落下、投げる、引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
床面にこぼれた粒は常に清掃をして取り除く。放置すると滑って転倒する可能性がある。
8. ばく露防止及び保護措置
- 管理濃度 : 設定されていない。
 - 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
 - 日本産衛学会(2016年) : 設定されていない。
 - ACGIH(2016年) : 設定されていない。
 - 設備対策 : 手洗い場を設置する。
換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。
 - 保護具
 - 呼吸器の保護具 : 防塵マスク
 - 手の保護具 : ゴム手袋
 - 眼の保護具 : 保護眼鏡
 - 皮膚及び身体の保護具 : 定められた作業衣、安全靴
9. 物理的及び化学的性質
- 物理的状态、形状、色など : 薄褐色、白色の粒状品
 - 臭い : 有機臭があり、かすかなアンモニア臭もする場合あり。
 - pH : 5.5~7.5
 - 融点 : データなし。
 - 比重又は嵩比重 : 0.78~0.93
 - 溶解度 : 水に一部可溶。
10. 安定性及び反応性
- 安定性・反応性 : 安定で反応性は低いですが、加熱すると分解してアンモニアガス等の有害ガスを発生する可能性がある。
11. 有害性情報
- : データなし。
12. 環境影響情報
- : 閉鎖水域で水質の富栄養化をもたらす。

13. 廃棄上の注意

: 肥料として農作物に適量撒くか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規則

: 該当しない。

国内規則

陸上規制情報

: 該当しない。

海上規制情報

: 該当しない。

航空規制情報

: 該当しない。

特別の安全対策

: 丁寧に取扱い、包装袋の破れ、水濡れに注意し輸送する。
雨天時は防水シート等で覆いをする。

15. 適用法令

肥料取締法

: 指定配合肥料

水質汚濁防止法

: 生活環境の保全に関する環境基準項目(全窒素、全りん)

労働安全衛生法

: 名称等を通知すべき有害物(法第57条2)

16. その他の情報

参考文献

1. 15509の化学商品 2009年(化学工業日報社)
2. 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)
3. GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
4. GHSモデルSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。

危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。

注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮をお願い

※この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱には十分に注意して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

本 SDS は、片倉コープアグリ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については下記にお問い合わせください。

会社名	: 片倉コープアグリ株式会社 生産技術本部 生産技術部
住所	: 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号
電話番号	: 03-5216-6614
FAX 番号	: 03-5216-6621
緊急連絡電話番号	: 03-5216-6614